

平成30年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	生涯学習課		
------	-------	--	--

基本目標	2 みんなで“学び育む”～次代と豊かな心を育むまちづくり～
施策	7 家庭教育・青少年育成

施策の方向・内容		具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1	青少年の健全育成	青少年の健全な発達を阻害するおそれのある非行や被害防止のため、県と連携し、広報無線や広報紙、町内主要施設への看板設置等により啓発活動を実施した。また、青少年問題についての協議会の開催や、子ども会活動を支援し、子どもたちの健全育成を図った。	A	B
2	家庭教育の充実	心身ともに健全な子どもを育てるため、よりよい家庭教育のあり方を求め、地域ぐるみの家庭教育の推進や家庭の日の普及啓発を目的に、4回にわたる子育て講座と家庭教育講演会を実施した結果、親子で参加する人数が増えた。	A	B
3				
4				
5				
6				

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(H34)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
1							
2							
3							
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題
青少年の健全な発達を阻害するおそれのある非行や被害防止のための普及啓発活動の推進は、目に見える評価が困難であるため、例えば犯罪や事故件数等、指標を検討する必要がある。また、子ども会の活動育成に係る事業やジュニアスポーツ教室は、参加する人数が少ない。

評価を踏まえた来年度以降の改善策
青少年に関する諸問題は、青少年問題協議会での議論を継続し、子ども会の活動育成に係る事業やジュニアスポーツ教室への参加は、扶桑町子ども会連絡協議会との連携を図り、町民の方へのPR活動を行う。また、子育て講座や家庭教育推進事業講演会については、さらに参加人数を増やすため、工夫を凝らし魅力ある内容を検討する。

※1 事業の実効性
 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%)
 C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度
 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%)
 C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)